

許可番号：21-03-03

人を対象とする研究に関する情報公開について

西暦 2021 年 3 月 29 日作成

下記の研究は、福岡大学研究倫理委員会から承認され、学長の許可を得て実施するものです。

研究対象者に対し個別のインフォームド・コンセントを受けない場合において、「福岡大学研究倫理委員会の審査対象研究の実施に関するガイダンス」第 4 章 第 8.1 に基づき、以下の通り情報公開いたします。

研究課題名	薬学部入学者の学習意欲と成績推移に関する調査研究
研究期間	学長の許可日～2022 年 3 月 31 日
研究責任者	薬学部 刀根 菜七子
試料・情報の収集期間	<input type="checkbox"/> : 新たな情報を取得する場合: 学長の許可日～ <input checked="" type="checkbox"/> : 既存試料・情報を利用する場合 <input checked="" type="checkbox"/> 過去の期間: 西暦 2014 年 4 月 1 日～学長の許可日 <input type="checkbox"/> 未来の期間: 学長の許可日～
研究対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・本学薬学部 2014 年度入学者全員 (233 人) ・2015 年度生物リメディアル教育受講者のうち、アンケート回答者 (34 名) ・2018 年度生物リメディアル教育受講者のうち、アンケート回答者 (30 名)
研究の意義と目的	<p>6 年制薬学教育の開始から 2020 年度で 15 年目を迎え、2016 年には薬学教育を専門とする学会も設立されました。質の高い医療人を育成するために、各大学の薬学部で効果的な学習方法や学生のモチベーションを維持させる方法が検討されています。特に初年次で行うリメディアル教育の効果は、薬学教育を専門とする多くの教育研究者が関心を持つ事項の 1 つですが、入学直後に実施したリメディアル教育が、卒業までの 6 年間という長期間に及ぼす効果はまだ明らかになっていません。研究責任者は本学薬学部の薬学教育支援センターに所属しており、入学時に学習に対して不安を抱える学生への生物リメディアル教育や、高学年次で学習意欲の欠如がみられる学生へのサポートを行っています。</p> <p>今回 2014 年度入学者の成績データやアンケート調査結果を用いて、生物リメディアル教育受講者と非受講者の成績データ等を比較検討することで、教育効果を判定します。加えて 2015・2018 年度に生物リメディアル教育受講者から得られたアンケート調査結果も解析し、より正確な教育効果の判定を目指します。これにより今後のさらなる学習支援の充実へとつなげます。</p>
研究の方法	<p>2014 年度本学薬学部入学者を対象として、入学時に実施するプレイスメントテストから卒業時に受験する薬剤師国家試験までの成績データ(定期試験・模擬試験・卒業試験など)や支援センターで実施したアンケート調査結果を蓄積し、追跡調査します。研究責任者が所属する薬学教育支援センターで行う正課外の学習支援(1 年次前期: リメディアル教育)が学生の学習意欲や成績向上に長期的な効果をもたらすのかを検証するため、追跡調査した成績推移データなどを用いて解析を行います。</p> <p>2014 年度に実施した生物リメディアル教育の長期的な効果を判定するための主要評価項目として第 105 回薬剤師国家試験合否判定を用います。</p>

	<p>また、2015・2018 年度の生物リメディアル教育にて実施した授業アンケート調査結果を用いて、2014 年度入学者のデータから得られた結果と比較検討し、生物リメディアル教育の教育効果をより明確なものにします。</p> <p>統計解析 アンケートの回答は 5 件法とし、肯定的回答の割合で解析します。成績データは Wilcoxon の順位和検定(統計解析ソフト IBM SPSS Statistics)で行い、統計学的有意水準は全て 5%に設定します。</p>
研究に用いる試料・情報	<p>【情報】:成績データ(プレースメントテスト、定期試験、模擬試験、卒業試験、薬剤師国家試験結果)、アンケート調査結果(薬学教育支援センターで実施する学習に関するアンケート)など</p> <p>①成績データ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレースメントテスト I の「生物」(薬学ゼミナール,2014 年 4 月実施) ・薬学生物学入門(2014 年度前期定期試験) ・生体機能分子学 I (2014 年度前期定期試験) ・人体生化学 I (2015 年度前期定期試験) ・人体生化学 II (2015 年度後期定期試験) ・CBT 対策全国統一模擬試験 II の「生物」(薬学ゼミナール,2017 年 10 月実施) ・卒業試験合否判定(2018 年度) ・全国統一模擬試験 III (薬学ゼミナール,2019 年 2 月実施) ・第 105 回薬剤師国家試験合否判定(2019 年 2 月) <p>②アンケート調査データ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物リメディアル教育最終日アンケートから以下の 4 項目 a) 大学受験時や入学時に大学のシラバスを見て生物の内容と関連する科目への苦手意識はありましたか? b) Q3 の苦手意識はこの講義内容で改善しましたか? c) この講義の内容で関連項目への理解は深まりましたか? d) この講義を受講して、薬学部における生物分野の必要性を感じましたか? ・自由記入欄への意見 <p>上記の内容を個人が特定されない形で解析に用います。</p>
外部への試料・情報の提供	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有
外部からの試料・情報を利用	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有
情報管理責任者	刀根 菜七子
研究のための試料・情報を利用する者	福岡大学研究倫理委員会で承認され学長から許可された研究者 他施設:各施設の倫理委員会で承認され研究機関の長から許可された研究者
個人情報の保護	収集した試料・情報は、匿名化(どのデータが誰のものか分からなくすること)した上

	<p>で本研究に利用します。「福岡大学研究倫理委員会の審査対象研究の実施に関するガイドンス」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。</p>
研究協力の任意性と撤回の自由	<p>この研究へのご協力は、ご自身の自由意思に基づくものです。この研究に参加を希望されない方は下記の問い合わせ先へご連絡ください。ご連絡のあった方の試料・情報を本研究に利用しません。ただし、ご連絡を頂いた時点で、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、試料・情報を削除できないことがあります。この研究への試料・情報の利用を断っても、不利益を被ることはありません。</p> <p>また、ご希望により、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。希望される方は下記の問い合わせ先までお申し出ください。</p>
試料・情報の利用または他の研究機関への提供の停止について	<p>ご本人またはその代諾者のご希望により、試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止することができます。試料・情報の利用または提供の停止を希望される方は下記の問い合わせ先までお申し出ください。</p>
問い合わせ先	<p>福岡大学 薬学部 担当者: 刀根 菜七子 電話: 092-871-6631(代表) (対応可能時間 平日 8:50~17:50、日曜・祝日は除く)</p>